

グリーン・あい

No. **99**

・2021年1月発行

一般財団法人 富田林市公園緑化協会

TEL 0721-25-1000

FAX 0721-25-4110

<http://web1.kcn.jp/tondabayashi/koen/>

すばやく検索

富田林市公園緑化協会

検索



- ・花を楽しもう……ガウラ
- ・公園のりっぱな木を発見…梅の里10号公園のケヤキ
- ・樹木医相談……樹木の更新
- ・干支の名前にうしがつく植物
- ・草木でオモチャ作り…木の実で丑の置物
- ・お知らせ

花を楽しもう(2つ)

ガウラ

アカバナ科 学名 *Gaura lindheimeri*

北アメリカ原産。多年草。性質は強健。日当たりの良い場所を好みます。

花期5月末～10月。

ガウラは別名をハクチョウソウと言い、美しい花の姿から、ギリシャ語のガウロス（華麗な、堂々とした）にちなんでつけられたとされます。

耐寒性、耐暑性があり、育てやすい植物という評判です。

花は数日でしぼみますが、次々と咲いてくるので長く花を観賞できます。植え込み時より咲きながら株が大きくなります。

背丈が高くなる品種は1mを超えるものもあり、倒れやすい傾向にありますので、庭などの広い場所に植えるのがオススメです。品種改良された矮性種、色もピンクや複色などがありますので、鉢植えにされる時はこちらの品種が育てやすいです。

風に揺れるガウラの花は優雅に見えます。草丈がありますので、花壇に他の花たちと一緒に植えこむときは、見る側から手前には丈の低い花を、後ろのほうにはガウラなどの丈の高い花を植えると視線を遮らず花が楽しめます。



樹木医相談コ-ナ-

樹木の更新

森の中で樹は他の生き物と共生し、自然に更新を繰り返します。種から芽吹き、成長して花が咲き、また種をつけて子孫を残します。動物や昆虫の食料となり、葉は落葉し年数をかけて腐葉土となり土の栄養分になり、樹木自身は他の植物と競争しながら成長しますが、思わぬ災害や虫などに傷つき、そこに腐朽菌が侵入して徐々に朽ちて倒れ、また太陽が差し込む空き地ができるとたまたまその周辺に落ちた種が芽吹く…繰り返される営みです。

街の緑(樹木)は違います。

種から育つことは稀(まれ)で、ほぼあちこちの圃場(ほじょう:苗を育成している場所)から運ばれ、公園や街路の植え込み、庭やマンションの共有地などに植えられます。花や紅葉が美しい、大気汚染に強い、乾燥に強いなど用途によって色々な品種の樹が植栽されます。

元々自生している地域とは環境の違う場所に植えられ、圃場では水管理されていても、公園などに植栽されると植えたときの水くらいしか与えられず、自力で根を伸ばし水を確保しなければなりません。また、他に植栽された樹と水や栄養、太陽光の争奪戦もあり、苛酷な環境で生き残る努力を樹はひそかに行っています。

街にも鳥や昆虫がいますので、その棲み家や食料としての役目を担っています。葉の蒸散作用によって気温の上昇をやわらげ、二酸化炭素を吸って酸素を作りだしてくれるなど、私たちの身近で私たちの健康を守ってくれているのも樹木です。

色々な面で役立っている街の樹木ですが、生き物なので少しずつですが大きく生長します。ケヤキを例にすると、植栽されたときは手首くらいだった幹周りも、40年も経過すると両腕で抱えきれないほどの太さになるものもあります。街路樹の場合、植樹(うえます)といって樹を植えるスペースのことをいうのですが、この植樹幅いっぱいには幹が生長し、伸びた根が歩道の路盤を持ち上げて通行の支障になったりします。歩道を割ったり凸凹になったり通行に支障をきたすと、歩道のリニューアル工事をするようになります。

ここで問題・歩道リニューアルをするとき根はどうなるでしょうか?

答えは…邪魔な根を切ってしまう。です。

では、樹木は本来どうやって土の上立って生えているのでしょうか?

根が支持基盤になっているから倒れずに立っているのです。

邪魔になった根を切ると、切り口から腐朽菌が侵入し、木の根元が弱っているものも出てきます。また、切られた根の側は樹を支える力が弱くなっています。普段何気なく立っている樹ですが、見えないところでは樹は痛めつけられ弱っています。台風などで弱くなった方向に強風が吹きつけると倒れてしまいます。大きくなればなるほどリスクも大きくなります。

森や林などの自然界では倒れたりしても普通なことですが、街の中ではそうはいきません。住民の方の安全のためにも、街路樹など人が行き交う場所の大きくなりすぎた樹木の更新は必要です。



草木でオモチャ作り

令和三年、新年明けましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今年の十二支は丑年ですので『木の実で丑の置物』を作ってみましょう。

①用意するもの

・ドングリ(クヌギ・マテバシイ)・マテバシイの殻斗・松ぼっくり・小枝
・縄(細め)・ヒートン・折り紙・ハサミ・接着剤(ホットボンド)・台座など

②クヌギの丸いドングリを2個使い、丑の胴体を作ります。ドングリの尖った先端側どうしを向かい合わせて接着しましょう。

③マテバシイのドングリを使い、丑の顔を作ります。ドングリのヘソの部分に丑の鼻輪となるヒートンを取り付けましょう。尖った先端側にはマテバシイの殻斗を接着し、丑の耳になる松ぼっくりの笠を2枚切り取り接着します。角は小枝を短く切り、頭部に接着しましょう。

④折り紙で丑の服を作ります。折り紙は胴体のつなぎ目が隠れる幅で切り、胴体に巻き付けましょう。

⑤胴体に足と尻尾を取り付けましょう。足の小枝にはサクラを使用しました。丑の足は偶蹄類と呼ばれ2本の蹄があり、サクラのつぼみを蹄に見立てました。尻尾は縄の先端だけをほぐして、胴体の端に接着しましょう。

⑥丑の頭部と胴体を接着して、台座に取り付けたら丑の置物の完成です。

※大人と一緒に作りましょう。



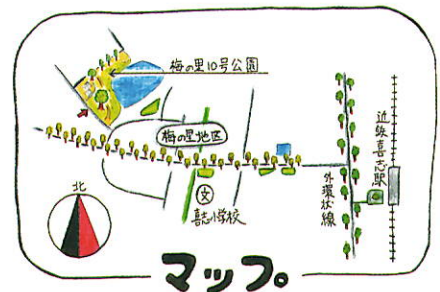
公園の「りっぱな木」を発見!!

梅の里10号公園のケヤキ

梅の里10号公園は、平成9年に開設されました。
植栽された樹木の中で大きく成長したケヤキ2本があります。



左の写真手前のケヤキが一番大きく、左後ろに見えるケヤキが二番目に大きなケヤキ。



一番大きなケヤキは、幹周りが1.8m、樹高が約13mあり、広場にこのケヤキが1本だけ植栽されているので、枝葉を10m広げており、ケヤキらしい美しい樹形をしています。

春は新緑、夏は木陰、秋は紅葉、冬はほうき状の枝と、四季をとおして変化し季節の移り変わりを感じさせてくれます。



周辺の住宅から離れており、まだまだ枝葉を広げる空間が十分にあるので、将来、この地区のランドマーク的な存在になるように、見守り続けてほしい樹木です。



干支の名前がつく植物 丑(うし)

植物の名前に「うし」がつくものをご紹介します。

牛蒡(ごぼう)・・・ごぼう キク科

平安時代に中国から薬草として伝わった。品種改良され、現在おなじみのゴボウとして根を食用としています。

牽牛子(けんごし)・牽牛花(けんぎゅうか) アサガオの別名

ヒルガオ科

奈良時代に遣唐使によって種を薬として持ち帰ったといわれており、平安時代には薬草として取り扱われていたといわれています。江戸時代後期になるとアサガオは花や葉の姿を觀賞する園芸品種が多くつくられ、一大ブームが巻き起こりました。

中国で昔、この種が薬として高価だったことから、もらった人は牛を牽(ひ)いてお礼を言いに来たことから名前がついたといわれています。



牛の額(うしのひたい) ミゾソバ(溝蕎麦)の別名 タデ科

葉が牛の額に似ているということから呼ばれています。水辺に見かける植物で、河岸や小川の岸辺、田んぼの土で築かれた溝の側の土手、用水路脇などに生育しています。また、ミゾソバという名前は見た目が蕎麦のように見えることから名前がついたとされる。小さな花は白に先のほうがピンク色で夏の終わりから秋にかけて咲きます。

牛殺し(うしころし) カマツカ(鎌柄)の別名 バラ科

この材で牛の鼻輪をつくったからとか、鼻輪用の穴をあけたから、牛を追い込む際に使った棒がカマツカだったなど諸説あります。

材は強靱で農機具の鎌の柄(え)として利用されていました。春に白い小花を群生させ、楕円形の赤い実がなる「牛殺し」という恐ろしい名前とは程遠い可憐な見た目の樹です。



講習会風景

ケアセンターけあばるで、「季節の寄せ植え」や「お正月の寄せ植え」講習を開催しました。

緑化協会では、町会、自治会、施設グループなどの団体様向けに園芸教室を行う事業もしています。材料費は実費です。コケ玉作りや寄せ植えなどご予算に応じた講習をしていただけます(応相談)。お気軽にお問い合わせください。





メンテナンスの定期便



一般財団法人富田林市公園緑化協会が管理する富田林市内の公園樹や街路樹の2月から5月までの定期メンテナンス予定表

公園

作業	月	2	3	4	5
除草					〰
樹木の剪定		〰			
枯れ木の撤去		〰			
花壇の植替え					〰

広場の草刈りをします
茂りすぎた樹木の枝透かしをします
立ち枯れの樹木を切り倒します
パンジーなどからポーチラカやサルビアなどの夏の草花に植え替えます



緩衝緑地

作業	月	2	3	4	5
除草					〰
枯れ木の撤去		〰			

宅地沿いや道路沿いの部分を主に草刈りをします
立ち枯れの樹木を切り倒します

街路樹

作業	月	2	3	4	5
除草					〰
樹木の剪定		〰			
クスノキの 落ち葉清掃				〰	

街路樹や歩行者専用道路樹の植栽部分の草刈りをします
茂り過ぎた樹木路線の整枝剪定作業をおこないます

クスノキの街路樹の落ち葉を清掃します

昨年の秋は紅葉が美しく落葉が例年より早くなりました。落ち葉清掃では、みなさんの多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

樹木のメンテナンス作業中は、なにかとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

◀ お知らせ ▶

☆花の種の配布

下記の公共施設14か所に設置している「花の種BOX」で3月下旬から花の種の配布を行います。数に限りがありますのでお早めに。

市役所 1階都市魅力課窓口、金剛連絡所、人権文化センター、市民会館、中央公民館、東公民館、金剛公民館、体育館、総合スポーツ公園、かがりの郷、農業公園、福社会館、ケアセンター(けあばる)、すばるホール

配布種子 春撒き草花種(マリーゴールド、サルビアなど)

編集後記

昨年は新型コロナウイルスに翻弄された年でした。感染予防対策も見えない敵と戦っているようで、いつ感染するかわからない、どのくらい重症化するのかかわからない怖さを感じる日々を過ごしていました。今年はそんな恐怖も払拭されオリンピックが開催されたり、仲間と交流できるような年になればいいなと思います。

初夏からの「みどりの勉強会」や「園芸講習会」も感染予防に努め開催予定です。また皆様と和気あいあいと講座をしていきたいと思っておりますので、ぜひご参加下さい！



ローズマリー

シソ科

学名 *Rosmarinus officinalis* L.

地中海沿岸原産。常緑低木。属名のRosmarinusは「海の露」の意。消臭、殺菌、抗酸化作用があり、ハーブとしてクセの強い肉や魚料理の臭い消しや、葉枝を漬け込んだオリーブオイルなど幅広く料理に使われています。記憶力を高めるとも言われていました。秋から翌春にかけて咲く花はブルーで清涼感があり蜂が蜜をとりにやって来ます。